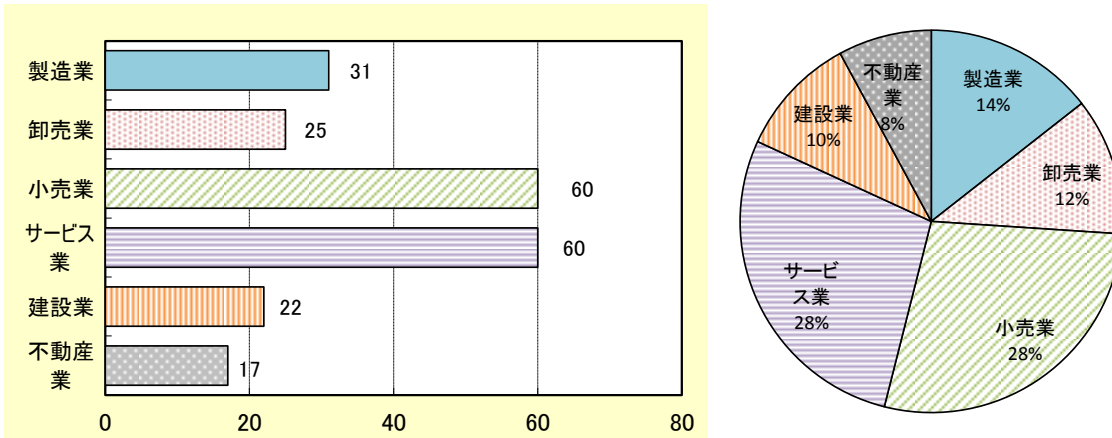


中小企業における人手不足の状況と働き方改革への対応について(業種別の集計)

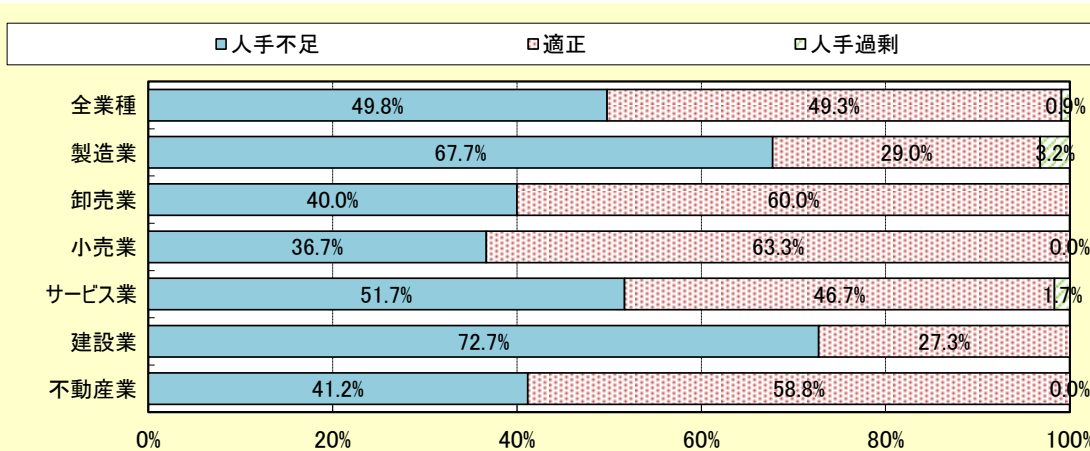
2019年4月～6月期 景気動向 特別調査 調査先215先

基本情報 調査先の業種別構成比

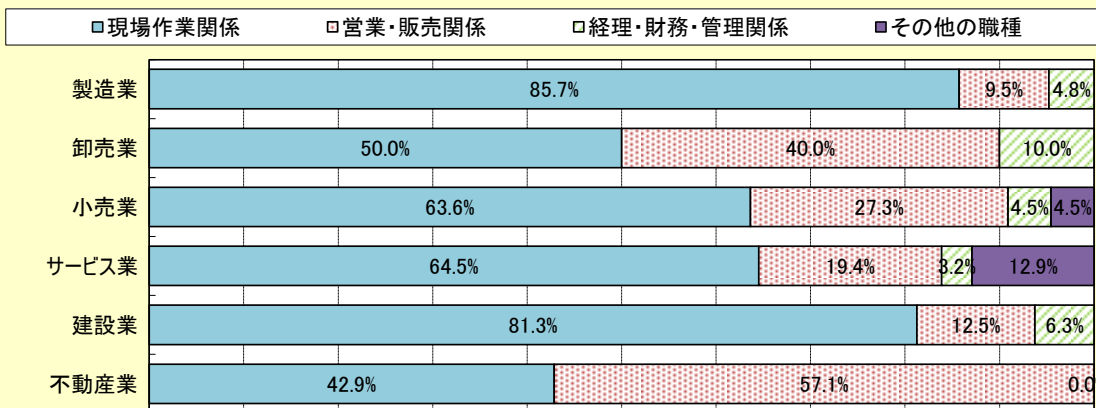


問1 貴社では、最近顕在化しつつある人手不足の状況をどのように認識していますか。人手が不足している場合は1～4より、人手が過剰な場合は6～9よりそれぞれ過不足のある職種をお答えください。なお、適正な場合は5を選択してください。

- | | | |
|--|------|--|
| 人手不足
1.現場作業関係
2.営業・販売関係
3.経理・財務・管理関係
4.その他の職種 | 5.適正 | 人手過剰
6.現場作業関係
7.営業・販売関係
8.経理・財務・管理関係
9.その他の職種 |
|--|------|--|

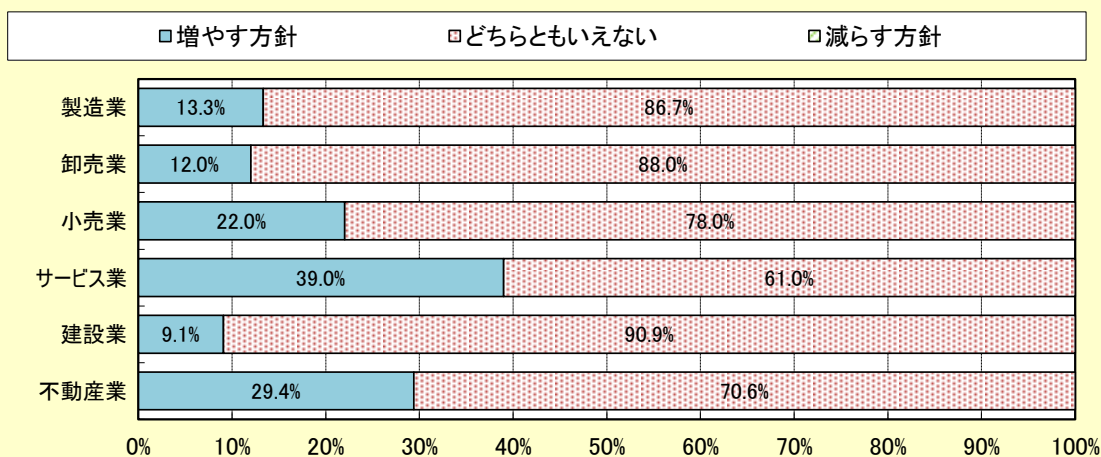


業種別人手不足の内訳

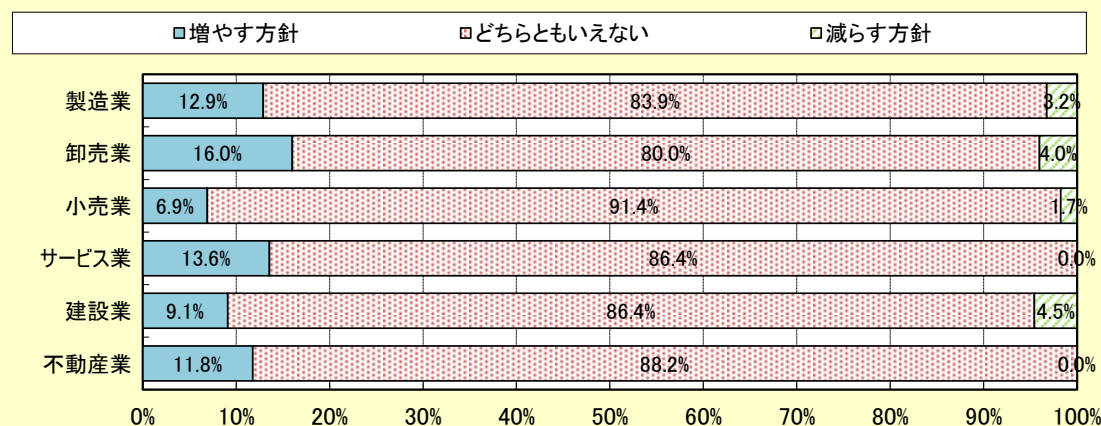


問2 貴社では、人手不足で採用が困難になりつつあるなか、女性、高齢者、外国人の活躍推進それぞれについて、今後、どのようにお考えですか。あてはまるものを以下の1～9よりそれぞれ1つつつ選んでお答えください。

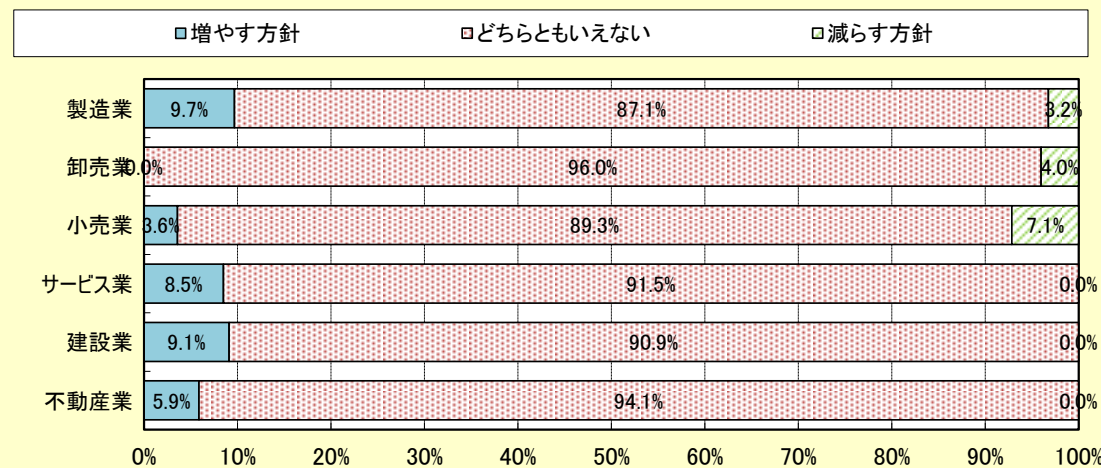
女性の活躍



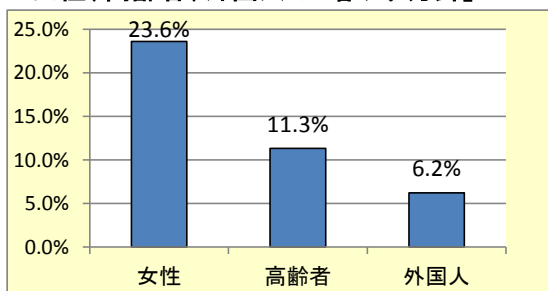
高齢者の活躍



外国人の活躍



女性、高齢者、外国人の「増やす方針」



今後の女性、高齢者、外国人の活躍推進への考えについては、女性については23.6%、高齢者については11.3%、外国人については6.2%が「増やす方針」と回答した。
業種別に見ると、女性を「増やす方針」と回答したのはサービス業が(39.0%)が最も多く、建設業(9.1%)で最も少なかった。高齢者は、卸売業(13.6%)が最も多く、小売業(6.9%)で最も少なかった。外国人は製造業と建設業で9%を超えた。

問5 働き方改革に何らかの対応をしていかなければならないなか、現在既に取り組んでいる事項あるいは今後優先的に取り組みたい事項は何ですか。以下の1～9の中から3つ以内で選んでお答えください。なお、わからない場合は0とお答えください。

